

<報道発表資料>

令和8年6月30日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都文学賞実行委員会

## 「第6回 京都文学賞」作品・読者選考委員の募集

京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、令和元年度から「京都文学賞」を実施しており、8月3日（月）から第6回の作品及び読者選考委員の募集を開始します。

また、第6回の最終選考委員として新たに澤田瞳子氏（作家）及び藤野可織氏（作家）に、アンバサダー（応援大使）として新たに高瀬隼子氏（作家）、鳥山まこと氏（作家）、畠山丑雄氏（作家）、校条剛氏（作家・評論家）に御就任いただきます。

1 作品募集 ※詳細は別紙1の募集要項参照。

(1) 募集期間

令和8年8月3日（月）～令和9年5月10日（月）

※ 郵送の場合は、5月10日消印有効。ホームページの応募フォームの場合は、同日の午後8時まで。

(2) 募集作品

京都を題材とする未発表の「小説」（ジャンル不問）

(3) 応募区分

「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門（プロ・アマを問わない）

(4) 応募方法

京都文学賞ホームページの応募フォーム又は郵送のいずれかで提出

(5) 賞の内容

一般部門 最優秀賞1点：賞金100万円、出版化

優秀賞1点：賞金50万円

中高生部門 最優秀賞1点：図書カード10万円分



優秀賞1点：図書カード5万円分

海外部門 最優秀賞1点：賞金10万円

全部門対象 読者選考委員賞1点（副賞なし）

※ 上記の賞のほか、最終選考会における議論の結果、賞を贈ることがあります。

(6) 最終選考委員（敬称略・五十音順）

<p>いしい しんじ（作家）</p> 	<p>1994年『アムステルダム』でデビュー。『麦ふみクーツェ』（坪田譲治文学賞）、『ある一日』（織田作之助賞）、『悪声』（河合隼雄物語賞）、『チェロ湖』（芸術選奨文部科学大臣賞受賞）など著作多数。25年『先生の庭』、26年『人生不案内』刊行。</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>これまで、さまざまな作品が寄せられてきました。職人の葛藤、野球に懸けた青春、映画への情熱、外国人の彷徨、平安貴族の恋、幕末の志士たちの声、大学生の与太話……。すべてをうけとめる、希有な場が京都です。今回はどんな物語が、この街をいろどるのでしょうか。</p>
<p>新任</p> <p>澤田 瞳子（作家）</p>  <p>撮影・富本真之</p>	<p>2010年『孤鷹の天』（中山義秀文学賞）でデビュー。『満つる月の如し 仏師・定朝』（本屋が選ぶ時代小説大賞・新田次郎文学賞）、『若冲』（直木三十五賞候補他）、『星落ちて、なお』（直木三十五賞）など著作多数。26年『春かずら』、『金波銀波』刊行。</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>京都は昔も今も、多くの人々を惹き付け続けるエネルギー溢れる地です。古いものも新しいものも、理知的なものも不思議なものも、すべてが違和感なく溶け合う町の新しい断面が、「京都文学賞」で読み手・書き手双方に提示されることを心より願います。</p>
<p>新任</p> <p>藤野 可織（作家）</p>  <p>©森山祐子/anant</p>	<p>2006年「いやしい鳥」でデビュー。『爪と目』（芥川龍之介賞）、『おはなしして子ちゃん』（フラウ文芸大賞）など著作多数。26年『ぎんいろせいじんのやくそく』、『どんないえ？』刊行。</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小説を書くということは、これまで知られていなかったこと、気づかれなかったこと、見過ごされてきたこと、見捨てられてきたことに新しい名前をつける仕事だと思っています。この土地にずっと住んでいる者として、予想もしなかった京都を見せてもらえるのを楽しみにしています。</p>

(7) アンバサダー（応援大使）

京都ゆかりの作家・評論家の方々に京都文学賞アンバサダー（応援大使）に就任いただき、SNS等を通じた情報発信など、京都文学賞のPRに御協力いただきます。



2 読者選考委員募集 ※詳細は別紙2の募集要項参照。

応募作品の選考（二次選考、読者選考委員賞選考、最終選考（数名のみ））に参画いただく読者選考委員を募集します。

(1) 募集期間

令和8年8月3日（月）～令和9年1月29日（金）

※ 郵送の場合は、1月29日消印有効。ホームページの応募フォームの場合は、同日の午後8時まで。

(2) 募集人員

10名程度

(3) 応募方法

京都文学賞ホームページの応募フォーム又は郵送のいずれかで提出

(4) 結果通知等

主催者において選考のうえ、令和9年3月頃に選考結果を通知します。また、同年6月頃に作品の選考に関する説明会（オンライン）を開催します。

3 応募先等

(1) 京都文学賞ホームページの応募フォーム

<https://kyotobungakusyo.com/>

(2) 郵送での応募先

〒604-8567（住所不要）京都新聞COM内

京都文学賞実行委員会事務局 「作品募集」係又は「読者選考委員」係

(3) 応募者問い合わせ先

〒604-8567（住所不要）京都新聞COM内

京都文学賞実行委員会事務局 「作品募集」係又は「読者選考委員」係

電話：075-241-6172（平日午前10時～午後5時） FAX：075-222-2200

メール：kyotobungakusyo@mb.kyoto-np.co.jp

4 主催

京都文学賞実行委員会（京都市、京都新聞、一般社団法人京都出版文化協会等）

5 今後のスケジュール（作品選考）

令和8年 8月 3日 募集開始

令和9年 5月10日 募集締切

6月上旬～ 一次選考【書評家等の専門家】

7月下旬～ 二次選考【読者選考委員】

9月下旬～ 読者選考委員賞選考【読者選考委員】

11月下旬頃 最終選考会【最終選考委員】

令和10年 1月中 受賞作の発表、表彰式

<添付資料>

別紙1 第6回京都文学賞作品募集要項

別紙2 第6回京都文学賞読者選考委員募集要項

別紙3 募集チラシ

<報道機関の方からの問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-3119

## 第6回京都文学賞 作品募集要項

1 募集作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都を題材とする「小説」とし、純文学、時代小説、ミステリー等ジャンルは問いません。</li> <li>● 日本語で書かれた自作の作品で、未発表のものに限ります。 (ただし、インターネット上で掲載された作品や、同人雑誌、自費出版物等で発表された作品については、営利を目的としていないもの限り、未発表とみなし応募を受け付けます。その場合、必ず掲載又は発表した媒体名を明記してください。)</li> <li>● 他の文学賞との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止します。</li> <li>● 第三者の著作権、その他の権利・利益を侵害したり、そのおそれがない作品に限ります。</li> <li>● 引用文献や参考文献がある場合、その出典等を必ず明記してください。</li> </ul> <p>&lt;生成 AI の使用について&gt;</p> <p>一般的な小説の創作手順として、「着想」・「プロット作成」・「本文執筆」・「推敲」が挙げられますが、作品の「本文執筆」及び「推敲」段階での生成 AI（人工知能）の使用は不可とします（ただし、作中に登場する生成 AI の言葉を表現するなど、客観的かつ合理的理由がある場合を除く。）</p> <p>また、「プロット作成」等で活用される場合も、生成 AI による生成物をそのまま活用することは原則不可としますので、あくまでも参考の一つとしてください。</p>
2 応募区分・資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「一般部門」「中高生部門」「海外部門」の3部門を設け、プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集します。</li> <li>● 「一般部門」については、年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募することができます。</li> <li>● 「中高生部門」については、2008年4月2日以降に生まれた方を対象とします。</li> <li>● 「海外部門」については、留学生をはじめ外国籍を有する方を対象とします。</li> </ul>

### 3 応募規定

- 作品分量 ※ ルビ、注釈、参考文献は文字数に含みません。

#### <一般部門>

パソコン原稿…28,000字以上 160,000字以内 ※ 手書き原稿不可

#### <中高生部門>

パソコン原稿…400字詰（20字×20行）原稿用紙に換算し20枚以上150枚以内

※提出原稿は以下の書式（30字×40行）を使用のこと

手書き原稿…400字詰（20字×20行）原稿用紙で20枚以上150枚以内

#### <海外部門>

パソコン原稿…8,000字以上 60,000字以内 ※ 手書き原稿不可

- 原稿の書式

#### <パソコン原稿>

A4判、横長、マス目なし / 30字×40行 / 縦書き

※ 京都文学賞ホームページからダウンロード可

#### <手書き原稿（中高生部門のみ）>

A4判、横長 / 400字詰（20字×20行）原稿用紙 / 縦書き

※ 消せるボールペンや鉛筆での記入は不可。濃くはっきりと読める字で丁寧に記してください。

- 誤字脱字、表記ミスなどの確認のため、作品を読み返してから御応募ください。
- 作品本文ページの左下に通し番号（ページ番号）を入れ、郵送の場合は右肩をクリップで綴じてください（ホッチキス留めは不可）。
- 中高生部門・海外部門で御応募いただいた作品が、一般部門の作品分量を満たしており、かつ最終選考まで残った場合、最終選考委員の意見により、一般部門において選考を行うことがあります。

#### 4 応募方法

- 京都文学賞ホームページの応募フォーム又は郵送のいずれかとします。

<WEB で応募する場合>

・応募フォームに必要事項を入力の上、作品及び下記の表紙1枚目（あらすじ等）を添付し提出してください。

※作品のファイル形式はWord又はPDFで添付してください。

<郵送で応募する場合>

作品原稿の上に、下記の表紙1枚目～3枚目を添えてお送りください。

- 表紙1枚目～3枚目に記載する必要事項

※京都文学賞ホームページからダウンロードしてください。

<表紙1枚目>

・応募区分

※ 中高生部門は生年月日、海外部門は国籍も記載してください。

・タイトル

・あらすじ（800字以内）

<表紙2枚目>

・ペンネーム（ふりがな）※本名も可

・作品のジャンル（純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他）

※ 御自身の作品に一番近いものを1つ選択してください。

できる限り「その他」以外の選択肢からお選びください。

・作品の総文字数

※ 中高生部門は、400字詰（20字×20行）原稿用紙換算枚数を記載してください。

・略歴（学歴、職歴、筆歴など）

・生年月日（西暦で記載）

※ 一般・海外部門の方は任意です。

・（応募作品の掲載歴等がある方のみ）掲載したURL又は発表した同人雑誌、自費出版物等の名称

	<p>&lt;表紙 3 枚目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本名 (ふりがな)</li> <li>・ 住所</li> <li>・ 電話番号</li> <li>・ E メールアドレス</li> <li>・ 性別 [任意]</li> <li>・ 職業 [任意]</li> <li>・ 京都文学賞に関するアンケート [任意]</li> </ul>
5 応募締切	<p>令和 9 年 5 月 10 日 (月) 20 時まで</p> <p>※ 郵送の場合は、5 月 10 日 (月) 消印有効。WEB の応募フォームの場合は、上記日時まで。</p>
6 最終選考委員	<p>いしいしんじ (作家)、澤田瞳子 (作家)、藤野可織 (作家)、読者選考委員の代表ほか</p>
7 賞の内容	<p>&lt;一般部門&gt;</p> <p>最優秀賞 1 点 : 賞金 100 万円、出版化</p> <p>優秀賞 1 点 : 賞金 50 万円</p> <p>&lt;中高生部門&gt;</p> <p>最優秀賞 1 点 : 図書カード 10 万円分</p> <p>優秀賞 1 点 : 図書カード 5 万円分</p> <p>&lt;海外部門&gt;</p> <p>最優秀賞 1 点 : 賞金 10 万円</p> <p>&lt;全部門対象&gt;</p> <p>読者選考委員賞 1 点 (副賞なし)</p> <p>上記の賞のほか、最終選考会における議論の結果、賞を贈ることがあります。</p>

<b>8 結果発表</b>	<p>&lt;一次選考&gt;  令和9年7月下旬頃に、選考結果を京都文学賞ホームページ上にて発表します。</p> <p>&lt;二次選考&gt;  令和9年9月下旬頃に、選考結果を京都文学賞ホームページ上にて発表します。  ※ 後日、選考を通過しなかった作品の簡易な選評を掲載します。</p> <p>&lt;最終選考&gt;  令和9年12月～令和10年1月頃に、受賞者へ直接通知するほか、選考結果及び選評を京都文学賞ホームページ等で発表します。</p>
<b>9 表彰式</b>	<p>令和10年1月（予定）  京都市内の会場にて、受賞者のほか、選考委員等を招いて実施します。</p>
<b>10 応募作品の著作権等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。</li> <li>● 受賞作品については、そのあらすじや作品の一部を主催者のホームページや新聞、その他の発行物において掲載することがあります。</li> <li>● 受賞作品の出版に当たっては、著作権を持つ応募者が出版を希望する協力出版社からの提案を基に、実行委員会と協議のうえ、出版社を決定するものとします。</li> <li>● 選考及び記録に必要な範囲で主催者において応募作品を複製することがあります。</li> </ul>
<b>11 注意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応募は一人一編とします。</li> <li>● 応募後の作品の訂正、返却依頼は受け付けません。必要な方は予めコピーをしておいてください。</li> <li>● 作品の選考に関するお問合せには応じられません。</li> <li>● 応募により得た個人情報については、本文学賞に関するもの以外には使用しません。</li> </ul>

## 第6回京都文学賞 読者選考委員募集要項

1 役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都文学賞の各部門（一般／中高生／海外）における一次選考※通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます（＝二次選考）。 ※ 一次選考は、書評家など専門家により実施します。</li> <li>● また、二次選考通過作品について、審査基準に沿って選考し、感想を記述していただきます（＝読者選考委員賞選考）</li> <li>● 二次選考終了後、最終選考に参画いただく読者選考委員（主催者において数名を選定します。）は、二次選考通過作品について事前に審査し、最終選考会に出席していただきます。</li> </ul>
2 選考時期・選考作品数	<p>&lt;二次選考（令和9年7月下旬～9月上旬頃）&gt;  1人10～15作程度（全読者選考委員が担当）  ※ 担当いただく作品数は、応募状況により変動する可能性があります。</p> <p>&lt;読者選考委員賞選考（令和9年9月下旬～11月上旬頃）&gt;  1人10作程度（全読者選考委員が担当）  ※ 作品数は、応募状況により変動する可能性があります。</p> <p>&lt;最終選考（候補作品送付：令和9年9月下旬／選考会：令和9年11月下旬頃）&gt;  各部門から数作（読者選考委員数名が担当）</p>
3 募集人員（予定）	10名程度 ※ 京都在住に限らず、広く全国から募集します。 ※ 本文学賞に作品を応募される方は、読者選考委員には応募できません。
4 謝礼	選考作品40,000字までにつき500円分の図書カード（1作品上限2,000円） ※ 最終選考会に出席いただく場合は、別途謝礼をお支払いします。
5 特典	① 令和10年1月（予定）に京都市内で開催する表彰式へ御招待（原則オンラインでの御招待とします。） ② 受賞作の刊行本プレゼント（予定）

## 6 応募方法

●京都文学賞ホームページの応募フォーム又は郵送のいずれかとします。

<WEBで応募する場合>

応募フォームに必要事項を入力してください。

<郵送で応募する場合>

以下の事項を記載し、郵送で応募先へ提出してください。

※ 様式は、京都文学賞ホームページからダウンロード可

① 選考を希望する部門（一般／中高生／海外）

※ 複数選択可。希望する順番（1、2、3）を御記入ください。

② 京都との関わり

③ 読書歴（1か月に何冊程度本を読むか）

④ 好きな小説のジャンル（純文学、ミステリー、ホラー、SF、ファンタジー、歴史、時代、青春、恋愛、その他 ※複数選択をお願いします。）及び好きな作品ベスト5（作品名・作者名）

⑤ 次の作品の中から1作品を読んだ感想（400字程度）

『ちとせ』高野知宙著（祥伝社文庫）

『危険球』木住鷹人著（早川書房）

『今日も私は、ひとつの菓子を』高田充著（淡交社）

『六月のぶりぶりぎっちょう』万城目学著（文藝春秋）

『成瀬は都を駆け抜ける』宮島未奈著（新潮社）

※ 第5回京都文学賞受賞作については、刊行に向けて協力出版社と調整中。募集期間中に刊行された場合、課題図書としていただくことも可能です。

⑥ 応募理由を含む自己アピール（200～400字程度）

⑦ 住所・名前（ふりがな）・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレス

⑧ 京都文学賞に関するアンケート【任意】

<b>7 応募締切</b>	令和9年1月29日（金）20時まで ※ 郵送の場合は、1月29日（金）消印有効。WEBの応募フォーム場合は、上記日時まで。
<b>8 結果通知</b>	令和9年3月頃に本人に通知します。 ※ 令和9年6月頃に、作品の選考に関する説明会（オンライン）を開催しますので御出席ください。
<b>9 注意事項等</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 応募者の選考は、京都文学賞実行委員会が行います。</li><li>● 読者選考委員に就任いただく場合、選考に当たって知り得た内容（応募作品や選考方法等）に関して、守秘を求めます。</li></ul>

賞金  
100万円  
&出版化  
※一般部門

第6回

# 京都文学賞 作品募集

読者選考委員も大募集！

求む！

「京都」を題材とした長編小説。

純文学、歴史、ミステリー、

SF等 ジャンルは不問

京都のまちは、

どんな物語も受け入れる

応募締切

～2027.5.10(月)

※読者選考委員は2027.1.29(金)まで

## KYOTO LITERATURE AWARD

修学旅行で訪ねた神社仏閣、お店に並んだ彩り豊かな和菓子、時代劇に映し出された街並み、SNSに流れてくる四季折々の美しい風景—誰もが人生のどこかで「京都、と関わり、それぞれの思い出を抱いていることでしょうか。しかし、そのイメージはどこか、「古き良き伝統のまち」のままで足踏みしていないでしょうか。平安絵巻に描かれた人々も、現代を生きる私たちも、このまちで暮らす人々が泣き笑い、今この瞬間も歴史を積み重ねています。一步踏み出してあなただけの視線で見つめ直せば、京都の違う横顔が見えてくるかもしれません。

京都文学賞では、既存のイメージを鮮やかに描き直す小説作品を募集します。これまでの受賞作は、『羅城門に啼く』『屋根の上のおばあちゃん』(第一回)、『鴨川ランナー』(第二回)、『ピボウ六』『ちとせ』(第三回)、『危険球』『今日も私は、ひとつの菓子を』(第四回)として、続々出版され、一味違った京都の物語を世に送り出しています。

あなたも、このまちを舞台に、まだ誰も読んだことのない物語を紡いでみませんか。

京都文学賞

Kyoto Literature Award



## 作品募集

「京都」を題材とする長編小説を募集 ※ジャンルは問いません。

応募締切：2027年5月10日(月) 20時まで

部門	応募資格	作品分量	賞の内容
一般	年齢・国籍を問わず、高校生以下の方や外国籍の方も含めどなたでも応募可。	28,000～160,000字	最優秀賞1点：賞金100万円、出版権 優秀賞1点：賞金50万円
中高生	2008年4月2日以降に生まれた方	8,000～60,000字	最優秀賞1点：図書カード10万円分 優秀賞1点：図書カード5万円分
海外	留学生をはじめ外国籍を有する方	8,000～60,000字	最優秀賞1点：賞金10万円

(共通) 読者選考委員賞 1点：副賞なし

【応募方法】 京都文学賞ホームページの応募フォームまたは郵送のいずれかとなります。

【結果発表】 一次選考結果 (2027年7月下旬頃) → 二次選考結果 (2027年9月下旬頃)  
 → 最終選考結果 (2027年12月～2028年1月頃) → 表彰式 (2028年1月予定)

## 読者選考委員募集

京都文学賞の応募作品を審査基準に沿って選考。感想を記述していただく方を募集

応募締切：2027年1月29日(金) 20時まで

【募集人員】 10名程度 (予定)

【応募方法】 京都文学賞ホームページの応募フォームまたは郵送のいずれかとなります。

【結果通知】 2027年3月頃に本人に通知します。

【謝 礼】 選考作品40,000字までにつき  
500円分の図書カード (1作品上限2,000円)

【特 典】 京都文学賞表彰式へのオンライン招待、  
受賞作の刊行本プレゼント (予定)

選考時期	選考作品数等
2027年7月下旬～9月上旬	二次選考 <全員> 一次選考通過作品 ※のうち1人10～15作程度を評価 ※一次選考は、書評家など専門家により実施します。
2027年9月下旬～11月上旬	読者選考委員賞選考 <全員> 二次選考通過作品10作程度を評価し、読者選考委員賞を決定
2027年9月下旬～11月下旬	最終選考 <一部の読者選考委員 (主催者において数名を選定) > 最終選考委員とともに二次選考通過作品10作程度を評価し、最優秀賞・優秀賞を決定

※作品募集及び、読者選考委員募集ともに、必ずホームページに記載の募集要項をご確認のうえご応募ください。

## 最終選考委員から

### ◎いしいしんじ (作家)



これまで、さまざまな作品が寄せられてきました。職人の葛藤、野球に懸けた青春、映画への情熱、外国人の彷徨、平安貴族の恋、幕末の志士たちの声、大学生の与太話…。すべてをうけとめる、希有な場が京都です。今回はどんな物語が、この街をいどるのでしょうか。

1994年『アムステルダム犬』でデビュー。『麦ふみクーツェ』(坪田譲治文学賞)、『ある一日』(織田作之助賞)、『悪声』(河合隼雄物語賞)、『チェロ湖』(芸術選奨文部科学大臣賞受賞) など著作多数。25年『先生の庭』、26年『人生不案内』刊行。

### ◎澤田瞳子 (作家)



京都は昔も今も、多くの人々を惹き付け続けるエネルギー溢れる地です。古いものも新しいものも、理知的なものも不思議なものも、すべてが違和感なく溶け合う町の新しい断面が、「京都文学賞」で読み手・書き手双方に提示されることを心より願います。

2010年『孤鷹の天』(中山義秀文学賞) でデビュー。『満つる月の如し 仏師・定朝』(本屋が選ぶ時代小説大賞・新田次郎文学賞)、『若冲』(直木三十五賞候補他)、『星落ちて、なお』(直木三十五賞) など著作多数。26年『春かずら』、『金波銀波』刊行。

### ◎藤野可織 (作家)



小説を書くということは、これまで知られていなかったこと、気づかれなかったこと、見過ごされてきたこと、見捨てられてきたことに新しい名前をつける仕事だと思っています。この土地にずっと住んでいる者として、予想もしなかった京都を見せてもらえるのを楽しみにしています。

2006年「いやしい鳥」でデビュー。『爪と目』(芥川龍之介賞)、『おはなしして子ちゃん』(フ라우文芸大賞) など著作多数。26年『ぎんいろせいじんのやくそく』、『どんないえ?』刊行。